

2018年1月16日日本にいる難民の現状と課題 シンポジウム 学生からの感想

★今回は難民に関わる方々に一度にお話を拝聴できる貴重な機会だった。なかでも印象的だったことは、ホワ グム ラット ゾウさんのお話だ。難民として日本に逃げて来て、大学にまで通うことができているのは、ホワさんが相当な努力をしたからだろう。また、ご自身の体験を誰かに伝えるという活動も大変に勇気がいるはずだ。最後の、知ることが最初の一步という言葉に胸に、更に難民に関する知識を深めたい。（国際交流学科2年 鈴木麻衣）

★認定申請数が最近増えてきていますが、中には偽装難民がいて、本当に保護を受ける必要がある人が認められにくくなっていると分かり、判断力と多方面から考えることで的確に且つ早く申請を受け入るようにしていくことが大事だと思いました。また、日本人の難民に関する意識を変えることも重要な課題であり、昔難民の意識が日本になかったことから、少しでも知っていることを自分の周りの人に伝えて広げていくことが大切だと感じました。（基礎課程1年 金澤舞依）